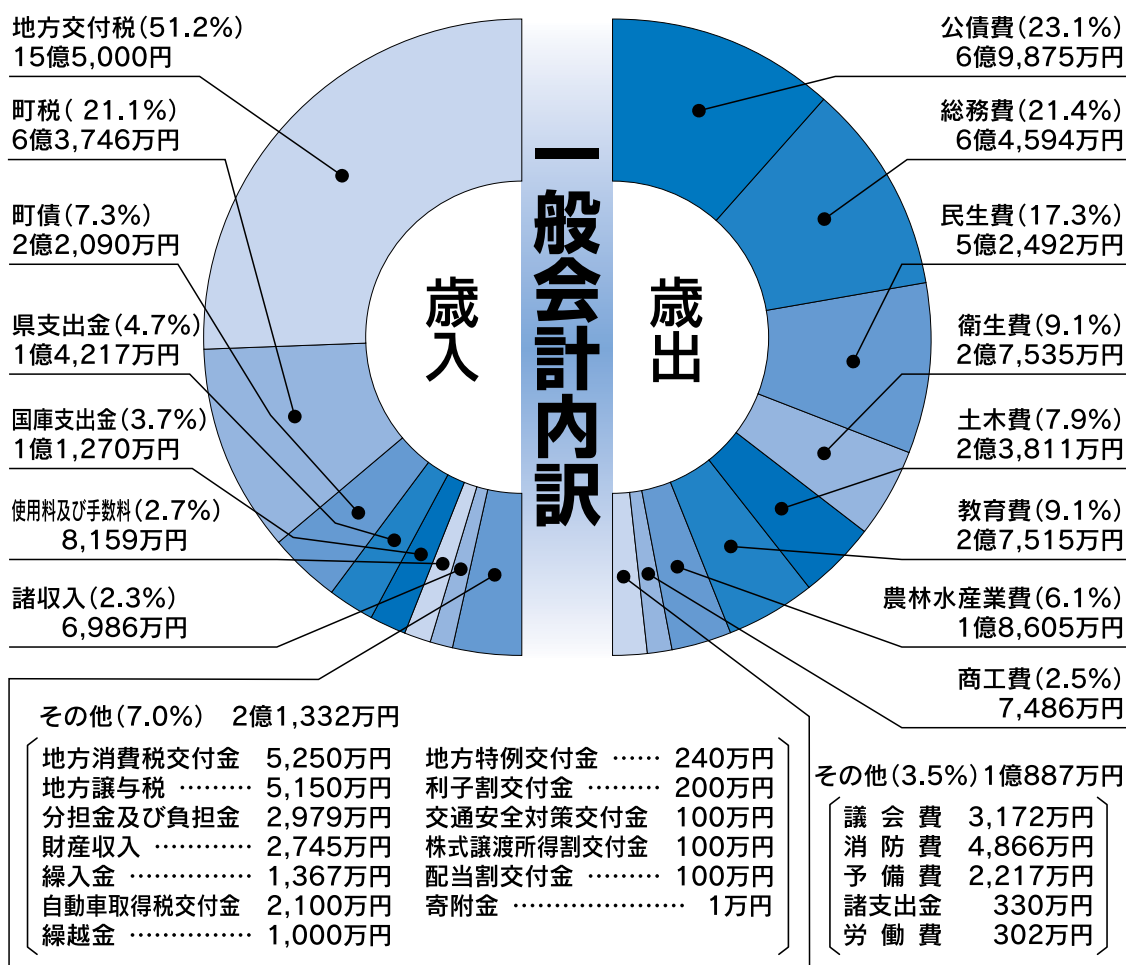


平成20年度

町の当初予算

～笑顔こぼれる協働のまちを目指して～

一般会計予算総額 30億2,800万円



平成20年度の南木曾町の当初予算が3月定例議会に上程され、審議の結果可決されました。平成20年度は町長、町議会議員選挙を4月に控えていることから、骨格予算となっています。

今年度の一般会計は、30億2800万円、19年度の当初予算と比較して4.7%の減となりました。

近年の厳しい社会情勢を反映して町税が1920万円、留保財源に伴う地方交付税が5000万円それぞれ減額となり、計画事業については補助事業・継続事業等の緊急性の高い事業を当初予算に計上し、単独予算については補正予算で対応することになりました。

道路基盤整備では、坪川橋架替事業、天白戸場線の改良、東町下線・大洞線の

町税の内訳

税目	予算額	構成比
固定資産税	4億805万円	64.0%
町民税	1億9,890万円	31.2%
町たばこ税	1,370万円	2.2%
その他	軽自動車税 961万円	1.5%
	入湯税 720万円	1.1%
合計	6億3,746万円	100.0%

一般会計の主な事業

総務費

新交通システム経費	5,524万円
木曾広域連合負担金	2億3,743万円
町長・町議会議員選挙経費	442万円

民生費

社会福祉協議会運営費補助金	1,135万円
老人福祉施設入所者措置費	2,256万円
障害者自立支援事業	4,539万円
福祉医療費(重度心身・老人・乳幼児・母子・父子)...	2,721万円
保育所運営事業・施設管理経費	4,449万円
児童手当事業経費	2,881万円

衛生費

予防接種・母子健診事業経費	795万円
浄化槽設置整備事業補助金	222万円
検診事業経費	838万円

農林水産業費

中山間地域直接支払制度交付金	3,402万円
林業振興事業補助金	384万円

有害鳥獣駆除対策事業	379万円
町有林造成事業	450万円
林道細野山線舗装事業	1,050万円

商工費

小規模事業指導費補助金	450万円
融資保証料	200万円
観光地整備事業	750万円

土木費

町道新設改良事業(東町下線・天白戸場線・大洞線)	7,252万円
町道橋梁架替事業(坪川橋)	7,655万円

消防費

消防団運営経費	3,253万円
消防ポンプ付積載車購入	719万円
消防水利施設整備事業	697万円

教育費

南木曾小学校改築事業	226万円
歴史の道整備事業	301万円
妻籠宿重伝建保存事業	1,351万円

特別会計予算総額 12億6,389万円

会計区分	19年度当初予算	20年度当初予算	増減率(%)
国民健康保険特別会計	5億6,171万円	5億3,213万円	5.3
簡易水道事業特別会計	2億3,897万円	2億9,205万円	22.2
妻籠宿有料駐車場特別会計	5,589万円	5,319万円	4.8
老人保健特別会計	8億3,258万円	7,000万円	91.6
下水道事業特別会計	8,561万円	8,424万円	1.6
農業集落排水事業特別会計	7,712万円	7,608万円	1.4
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	7,519万円	7,809万円	3.9
南木曾町後期高齢者医療特別会計	-	7,812万円	皆増
合計	19億2,707万円	12億6,389万円	34.4

開設を中心に計上しました。通信運輸では、新交通システム経費を計上しました。教育文化では、南木曾小学校改築事業設計競技委託料、三留野分館トイレ改修事業設計委託料のほか小学校運営経費、旧小学校教育振興経費、社会教育関係経費、妻籠宿保存工事等を計上しました。

生活環境関係では廃棄物処理対策経費・環境対策経費・町営住宅管理経費・消防積載車の購入・防火水槽の整備等を計上しました。

保健福祉関係では、各種検診費用、各種医療費、高齢者・児童・障害者福祉対策等を計上しました。なお、後期高齢者医療制度開始に伴うシステム改修等が追加され、乳幼児・児童医療費の対象年齢は中学3年生まで引き上げられています。

産業振興面では、企業・観光振興対策事業、農業基盤整備や中山間地域直接支払制度等農業振興対策、林業振興対策事業、林道細野山線舗装事業等を計上しました。

次に特別会計については、国民健康保険等事業会計、簡易水道等企業会計合わせて8会計で12億6,389万円を計上しました。(前年比 34.4%)

浄化槽市町村整備推進事業では、木曾川左岸地域(三留野地区)の合併浄化槽整備を実施します。また本年度より後期高齢者医療制度が開始されます。